

肝炎ウイルスは
あなたをだまします。

自覚症状がないまま、
とつぜん肝がんを引き起こす。
それがB型肝炎ウイルスの怖さです。

命を守る方法が、ひとつ。



B型肝炎のこと、なんでもご相談ください。

エコー検査で
何がわかるの？

症状がないのに
どうして検査を受けるの？

生活で気を
つけることは？

検査や治療の助成を
受けられるの？

健康診断の肝機能の数値が
正常でも、詳しく検査した方が
いいってホントですか？

子どものワクチンは
受けた方がいいの？



肝臓で気になることは肝臓相談窓口にお電話を 月～金(祝日、12月29日～1月3日を除く) 09:30～16:30

横浜市立大学附属病院
肝臓相談窓口

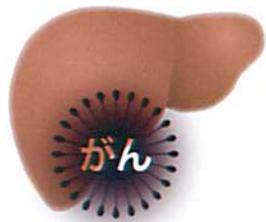
045-787-2800

このリーフレットは、平成27年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究（佐賀分科会）で作成されました。

肝臓で気になることは肝臓相談窓口にお電話を！



肝機能の数値が正常でも、
突然がんになることがあります。



「自覚症状がないから大丈夫」「肝機能の数値も正常だし」と言っている方が、知らないうちに肝がんになっていることがあります。B型肝炎ウイルスはあなたの体内で眠っているわけではありません。感染から長い年月がたつて突然がんを引き起こす、油断のならないウイルスです。ひとたびがんができれば、急速に成長するので、半年ごとにエコー検査で肝臓を診ることを強くおすすめします。

半年に一度 のエコー検査が、命を守ります。



肝臓の内側を診れば、
肝臓がんの早期発見につながります。



エコー検査は肝臓の状態を超音波で見る検査です。肝臓の中にがんができていを見つけることができます。肝がんの初期は自覚症状がなく、肝機能の数値に異常が出にくいので、エコー検査が早期発見の鍵になります。



肝臓専門医のいる医療機関で、
肝臓を詳しく診ることができます。



肝臓の検査は専門性が高いので、肝臓に詳しい医師に見てもらいましょう。精密検査を受けられる肝臓専門医のいる医療機関で「B型肝炎ウイルスの精密検査を受けたい」とお伝えの上、検査の予約をしてください。検査は20分ほどで終わります。



検査には助成制度が利用できます。



B型肝炎の精密検査は医療保険が適用されます。条件によっては、精密検査・定期検査の助成を受けられる場合があります。

助成制度の詳細内容は、神奈川県
ホームページをご覧ください。

神奈川県・保健福祉局 保健医療部 がん・疾病対策課の
検査費用助成制度について
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7029/p1034831.html>

あなたは肝炎ウイルスに感染しているようです。

たたけ! 肝炎ウイルス



肝がんを防ぐために、
あなたができる唯一の方法です。

肝炎ウイルスは、放っておいても消えません。

それどころか、肝炎、肝硬変、肝がんへと
進む原因になります。

一人で悩んでいないで、まずは 肝臓なんでも相談窓口へお電話ください。

月～金(祝日除く)
9:30～16:30

045-787-2800

(横浜市立大学附属病院
肝臓相談窓口まで)

「私の近くの病院を教えてください」
「肝炎ウイルスをたたくには、
どんな方法があるの?」
「お金はかかるの?」など、
気になること、
肝臓なんでも相談窓口
におたずねください。

肝炎ウイルスは薬でしか消せません。

肝炎ウイルスは、気づかいうちに肝がんに進む原因です。

「肝炎ウイルスに感染しているといっても、まだ病気
ではないし、病院に行く必要はないでしょ?」と
お考えなら、それは間違いです。肝臓の病気が
怖いのは、肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれるほど
がまん強く、自覚症状がないまま、肝炎、肝硬変、
肝がんへと進んでしまうことです。
大変な治療が必要になる前に、医師に相談を。

肝炎ウイルスから発症する病気



正常 ▶ 慢性肝炎 ▶ 肝硬変 ▶ 肝がん

場合によっては、肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

自覚症状がない今なら、肝炎ウイルスをたたけます。

この数年で肝炎ウイルスの薬は急速に進化しています。事実、肝炎が進行してしまった人も
含めて、9割近く治せるようになっていきます。むしろ、肝炎ウイルスを早くやっつけて、
肝がんを防ぐことが大切です。自覚症状が出てからでは、肝臓がかなりダメージを
受けているので、治療に耐えられなくなります。

まずはかかりつけ医、または専門医に相談を。

血液検査やエコー検査で、あなたの肝臓がどれくらいあぶない状態かを調べ、
次のステップを相談しましょう。薬が必要な場合は、あなたに合った薬を提案します。

今なら、県から助成金が出ます。

検査費の自己負担額のうち上限5,000円の助成があります。(医療保険3割負担の場合)



一人で悩んでいないで、まずは
肝臓なんでも相談窓口へお電話ください。

045-787-2800

月～金(祝日を除く)9:30～16:30

横浜市立大学附属病院 肝臓相談窓口 TEL:045-787-2800 FAX:045-787-2866

このリーフレットは、平成27年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)

効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究(佐賀分科会)で作成されました。

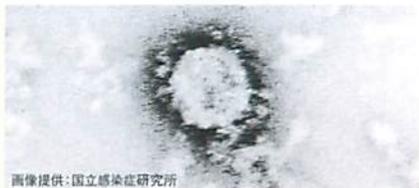
肝臓をちゃんと調べて、肝炎ウイルスをたたきましょう。

まず、精密検査で 肝臓の現在の状態を調べましょう。



■ **ウイルス量検査**(検査時間:約10分)
血液中の肝炎ウイルス量や型を調べます。

■ **超音波検査**(検査時間:約20分)
超音波で肝臓の状態を調べます。



画像提供:国立感染症研究所



精密検査について気になることは肝臓相談窓口にお電話を。

月~金(祝日除く) 9:30~16:30

045-787-2800

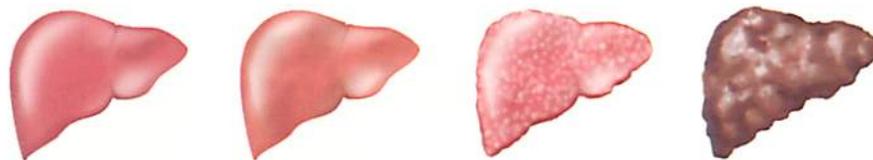
横浜市立大学附属病院

肝炎ウイルスは、 肝炎、肝硬変、肝がんの原因です。



肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強く、肝炎が進行していても、自覚症状がないことも珍しくありません。

肝炎ウイルスから発症する病気



正常

慢性肝炎

肝硬変

肝がん

場合によっては、肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

普段の生活をしながら、 飲み薬で肝炎ウイルスを たたく方法もあります。

肝炎の薬は急速に進歩し、近年飲み薬だけで肝炎ウイルスを治療することもできるようになりました。入院の必要もないため、仕事を休むことなく治療できます。

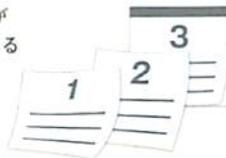


※ 病状によっては入院して治療を受けることがあります。

3ヵ月だけ飲む薬も できました*。

服用期間が3ヵ月の薬もあります*。服用中は禁酒すること以外生活を変える必要はなく、身体への負担もわずかです。

※ 病状によって、服用期間が6ヵ月の場合や注射による治療の場合もあります。



今なら、治療に助成制度が 利用できます。

治療費用

助成制度を利用すれば、治療費のほとんどをまかなえます。

〔自己負担額:10,000円または20,000円* × 治療期間(月)〕
〔*世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります〕
治療費助成を受けるためには、医師の診断書が必要です。まずは精密検査を受けましょう。



肝炎患者を助け、肝硬変・肝臓による
医療訴訟を回避する。

患者救

肝硬変・肝臓による医療訴訟リスクを負う。

肝炎を罹患されている患者さんを抱えてはいませんか？
肝炎訴訟は度々起きており、医師にとって訴訟リスクは決して他人事ではありません。

肝炎で知っておきたい！
3つのポイント

- ① C型肝炎は飲み薬で治る病気になりました。
- ② 特にB型肝炎では、「肝機能が正常だから心配ない」は間違いです。
- ③ 肝炎患者さんは、肝疾患専門医療機関へ1年に1回は紹介しましょう。
(専門医療機関への紹介に関してのお問い合わせは下記電話番号まで)

肝疾患相談窓口
(横浜市立大学附属病院内)

☎ : 045-787-2800

平日
AM 9:30~
PM 4:30まで

B 型肝炎

肝臓の状態	治療対象	抗ウイルス療法
慢性肝炎	ウイルス量 2,000 IU/ml 以上 かつ ALT 31 U/l 以上	● ペグインターフェロン ● 経口抗ウイルス薬 (テノホビル、 エンテカビルなど)
肝硬変	ウイルス陽性	● 経口抗ウイルス薬 (テノホビル、 エンテカビルなど)

B型肝炎治療ガイドライン第3版（日本肝臓学会）より改変

|||| B型肝炎患者の診療、ここがポイント！ ||||

- B型肝炎の方で抗ウイルス療法の対象となるのは、**ウイルス量が多くかつ肝障害を認めている方のみ**です。
- いわゆる「**健康キャリア**」の方（ウイルスは検出されるものの肝機能は正常）な方からも肝臓癌を発症することがあります。
- 「健康キャリア」の方も、**定期的な肝機能検査と肝画像検査**を行う必要があります。

肝炎患者の診療
ここがポイント！

- 抗ウイルス療法の適応や薬剤の選択には**肝臓専門医の判断**が必須です。
- B型・C型肝炎ウイルスに感染している方は、年齢・肝機能にかかわらず、全員、**肝臓専門医の診察を少なくとも1年に1回は受ける必要**があります。
- 一般に抗ウイルス薬は極めて高額ですが、**公費助成制度**を利用すれば極めて安価に治療を受けることが可能です。

横浜市では横浜市立大学附属病院と横浜市立大学附属市民総合医療センターの2ヶ所が肝疾患連携拠点病院の指定を受けています。

● 横浜市立大学附属病院 肝疾患相談窓口

045-787-2800

平日（祝日を除く）9：30～16：30

● 横浜市立大学附属市民総合医療センター 肝疾患医療センター

045-261-5656

平日（祝日を除く）9：00～17：00

C 型肝炎

C型肝炎ウイルス 遺伝子型	抗ウイルス療法
1 型	● ハーボニー配合錠 ● ヴィキラックス配合錠 ● エルバスビル/グラゾプレビル
2 型	● ソフォスビル+リバビリン ● ヴィキラックス配合錠+リバビリン

C型肝炎治療ガイドライン第5.4版（日本肝臓学会）より改変

|||| C型肝炎患者の診療、ここがポイント！ ||||

- C型肝炎ウイルスには**1型と2型、2つの遺伝子型**が存在します。
- 両方の遺伝子型のウイルスに対して、12週間の経口抗ウイルス薬の投与で、**95%以上の確率でウイルス駆除が可能**となりました。
- 従来のインターフェロンを使用した治療法に比べて**副作用が非常に少なくなりました**。
- 今まで治療ができなかった**肝硬変の方やご高齢の方**でも治療が可能になりました。
- ウイルス駆除後も肝臓癌が発生することが知られています。そのため**ウイルス駆除後も定期的な肝画像検査が必要**です。